

情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会

会長 栗田博美

2009. 12. 9

第2回授業研報告

研究テーマ 自ら学ぶ力と豊かな心を育てる情報教育をめざして

～メディア活用で育てる情報活用能力・メディア活用で伸ばす確かな学力～



2年 生活科

「すてきはっけん！みなみがわら」

日時 平成21年11月18日

授業者 添野 雅美 教諭

会場 川崎市立南河原小学校

町たんけんを通して見つけた、自分たちの住んでいる地域のよさや発見を伝え合う授業でした。その中で、子どもが表現方法を自ら選択し、こだわりや責任をもって伝えることができていました。ペープサートやクイズ、絵や劇など様々なメディアがあった中で、教材提示装置やビデオを使っての発表では、子どもたちの視線が集中し、聞き入っている姿が見られました。今回の授業では、発表の一つとしてICTが効果的であるということに子どもたちは気がついたようでした。低学年の早い時期から気づかせて使わせていくことが大事であり、教師が積極的にICTを使って見せることがしかけの一つに



なるのではないかとということが協議でも話し合われました。

添野級では、情報機器の利用に慣れることを目的に、日直のスピーチにデジタルカメラで撮影した画像を利用するという活動を進めてきました。カメラを持ち帰って、好きなものやがんばっていることなどを撮影してきて発表しています。このようなICT活用の経験が、今回の授業につながったのではということが確認されました。

今回指導をしてくださった 樋口 彰 指導主事からは、以下のようなお話をいただきました。

○学びあいのある授業の大切さ

教師が手を差し伸べなくてもグループで協力しながら発表している姿に教えあい、学びあいにつながるものがあった。教師がしゃべらない、子どもが主役の授業を。

○ICTの活用で、わかる授業、学びあいのある授業を

教師が積極的にICTを活用し、わかる授業を展開していくこと、また、子どもたちも活用し、学びあいのある授業につなげていくこと。

○受信する力を育てる

発信と受信は対になっているもので

あり、発信する力をつけるには聞き手を

育てることが大切である。クラスだ

けでなく、学年、学校で取り組んでい

く必要がある。

